FUJIFILM

ADVANCED PHOTO SYSTEM

nexia 330ixZ MRC

使用説明書　ご使用前に必ずお読みください。

BB12785-100 J

FUJIFILM　富士写真フイルム株式会社

●本製品についてのお問い合わせは…
富士フイルム札幌営業所　〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館　TEL (011) 218-5575
富士フイルム仙台営業所　〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル　TEL (022) 216-6960
富士フイルム東京販売部　〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30　TEL (03) 3406-2387
富士フイルム名古屋営業所　〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル　TEL (052) 203-5262
富士フイルム大阪支社　〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11　TEL (06) 6205-6421
富士フイルム広島営業所　〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター　TEL (082) 250-0755
富士フイルム福岡営業所　〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1　TEL (092) 281-0255

●修理の受付は…
札　幌：富士フイルムサービスステーション　〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館　TEL (011) 222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション　〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル　TEL (022) 265-2149
東　京：富士フイルムサービスステーション　〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル　TEL (03) 3436-1315
富士フォトサロン・東京　〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ　TEL (03) 3571-9411
新　潟：富士フイルムサービスステーション　〒951-8067 新潟市本町通7番町1153 本町通ビル　TEL (025) 223-7731
金　沢：富士フイルムサービスステーション　〒920-0864 金沢市高岡町1-39 住友生命金沢高岡町ビル　TEL (076) 263-3466
静　岡：富士フイルムサービスステーション　〒420-0859 静岡市栄町1-5 殖産ビル　TEL (054) 255-2465
名古屋：富士フイルムサービスステーション　〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19　TEL (052) 202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション　〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル　TEL (06) 6260-0915
富士フォトサロン・大阪　〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル　TEL (06) 6346-0222
高　松：富士フイルムサービスステーション　〒760-0015 高松市紫雲町3-1 香西第2マンション　TEL (087) 834-8355
広　島：富士フイルムサービスステーション　〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター　TEL (082) 256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション　〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1　TEL (092) 281-4863
鹿児島：富士フイルムサービスステーション　〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16 公社ビル　TEL (099) 226-2515

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。
●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL (03) 3406-2981

Printed in China　FGS-103104-Ni-01

カメラの特長

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書の内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

■小型・軽量3倍ズーム（23mm～69mm）
■暗いところでも安心の低輝度自動発光フラッシュ内蔵
■多彩な撮影モード（低輝度自動発光、赤目軽減、強制発光、発光停止、遠景）とセルフタイマーモード
■安心のカートリッジぶたセーフティロック機能付き

APS対応機能

このカメラは、APSの様々な機能に対応できます。

■1本のフィルムを途中で取り出して、また撮影できるMRC（カートリッジフィルム途中交換）機能
■フィルム装てんは失敗のない、カートリッジ、ポンのワンタッチドロップインローディング方式
■撮影途中でもプリントタイプ、C／H／P切り替え可能（見やすい実像式ズームファインダー）
■撮影した全コマが1枚で見られる、インデックスプリント
■プリント表裏に入る、両面デート
■フィルムに撮影時の情報が磁気記録され、プリント品質向上に役立つ、PQI

同梱品
この製品には、カメラ本体以外に以下の付属品が同梱されています。箱を開けたときにご確認ください。
□ リチウム電池　CR123A 1本
□ ソフトケース　□ ストラップ
□ 使用説明書　□ 保証書

主な仕様

項目	仕様
使用フィルム	IX240カートリッジフィルム
画面サイズ	16.7mm×30.2mm
プリントタイプ	C／H／P切り替え式
レンズ	フジノンレンズ　5群5枚構成　f=23mm～69mm　1：6.7～1：12.5
ファインダー	実像式ズームファインダー　0.33倍～0.87倍　C／H／P切り替え式　AFフレーム　近距離補正マーク　AFランプ
距離調節	アクティブオートフォーカス　1.0m～∞　AFロック付き 遠景モード（レンズ遠距離セット、フラッシュ発光停止）　AFランプ（点灯：撮影距離OK、点滅：撮影範囲外警告）
シャッター	電子制御式シャッター（1/8秒～1/300秒）
露光調節	自動調節　連動範囲（ISO200）　W：EV11～14 T：EV13（＊11）～14　（＊はフラッシュ発光停止時）
フィルム感度	自動設定（データディスク方式による）　ISO100、200、400/800
フィルム装てん	ワンタッチドロップインローディング方式　セーフティロック機能付き　光学式誤装てん防止機能
フィルム給送	電動式　自動巻き上げ　自動巻き戻し　途中巻き戻し可能　フィルム途中交換機能
フラッシュ	低輝度自動発光ズームフラッシュ　充電時間：約6秒 低輝度自動発光モード／赤目軽減モード／強制発光モード／発光停止モード
セルフタイマー	電子式　作動時間：約10秒　セルフタイマーランプ付き
液晶表示	フィルムカウンター　カートリッジマーク　撮影モード　セルフタイマーモード　デート フィルム種類　フィルム感度　電池容量警告　フラッシュ充電中
データ記録	磁気記録方式　各コマごとに記録　デート　プリントタイプ　PQI（プリント品質向上）情報
電源	リチウム電池　CR123A　1本
その他	デート機能　三脚ねじ穴付き
大きさ・重さ	113.0mm×63.0mm×42.0mm（突起部除く）　170g（電池別）

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

安全にご使用いただくために

●この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
●製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
●この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告	⚠ 注　意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警　告

- 絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。
- 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。
- カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。
- フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。
- カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。
- 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。
- カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。
- 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。
- 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注　意

- カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
- 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- 電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

CE　このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。（CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

このようなときは

■操作中このようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください
カートリッジを入れてカートリッジぶたを閉めたが、“E”“◘”が点滅している。	●撮影済みまたは現像済みのカートリッジを入れませんでしたか。	●カートリッジを取り出して、未使用あるいは未撮影のコマが残っているカートリッジを入れてください。
カートリッジを入れたが、フィルムカウンターが表示されない。フィルムが給送されない。	●カートリッジを入れた直後に電池を入れませんでしたか。	●そのままシャッターを切った場合は撮影できません。一度カートリッジぶたを開け再度閉める操作を行ってください。
シャッターが切れない。	①“▭”が点滅していませんか。 ②電源は入った状態にセットされていますか。 ③“ϟ”が点滅していませんか。 ④“E”が表示されていませんか。	①新しい電池に交換してください。 ②スライドカバーを開け、撮影可能な状態にセットしてください。 ③フラッシュ充電中です。“ϟ”が点滅から点灯に変わるまでお待ちください（フラッシュ充電時間は約6秒）。 ④カートリッジを取り出して、未使用あるいは未撮影のコマが残っているカートリッジを入れてください。
カートリッジを入れ、フィルムカウンターが表示されているが、シャッターが切れない。	●電源を入れたまま約5分間放置して電源が自然に切れたときにカートリッジを入れませんでしたか。	●スライドカバーを一度閉め、再度開ける操作を行ってください。
カートリッジぶたが開けられない。	●撮影途中のカートリッジを取り出そうとしていませんか。	●MRCボタンでフィルムを巻き戻してください。モーターが止まり“E”が表示されたことを確認してからカートリッジを取り出してください。

■プリントがこのようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください
画面がぼんやりしている。	①AF窓をかくして撮影しませんでしたか。 ②被写体のねらい方は適切でしたか。 ③レンズが汚れていませんか。 ④カメラのブレではありませんか。 ⑤近距離撮影時に▲▲モードで撮影していませんか。	①AF窓をかくさないようにしてカメラを正しく構えて撮影してください。 ②AFフレームでねらって撮影またはAFロック撮影してください。 ③レンズをきれいにしてください。 ④カメラをしっかり構え、シャッターボタンを静かに押してください。スローシャッター時は三脚を使用してください。 ⑤▲▲モード以外で撮影してください。
画面が暗い。	①暗いところでのフラッシュ撮影で、被写体が遠すぎませんでしたか。 ②フラッシュ撮影時にフラッシュ発光部に指が掛かっていませんでしたか。	①規定のフラッシュ撮影範囲内で撮影してください。 ②フラッシュ発光部に指を掛けないでください。
デート（年月日／時分）が合っていない。	●電池を入れたとき、もしくは電池交換時に修正しましたか。	●電池を入れたとき、もしくは電池を交換したときは、日付と時間を修正してください。
表面にデートが印字されていない。	①デートモードを“- - -”にして撮影しませんでしたか。 ②表面の印字はプリントサービス対応していないお店があります。	①“- - -”以外のデートモードを選択して撮影してください。 ②お店にご相談ください。

取扱上のお願い

1. カメラは精密機器ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
   ①海辺や小雨の中などで使用するときは、水が掛からないようにご注意ください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
   ②カメラケースに入っていても、落としたり、固いものにぶつけると故障の原因になります。また、振動が加わるところ（自動車のトランクなど）に放置しないでください。
2. APSでは、フィルムに磁気で情報を記録していますので、カートリッジやカートリッジが装てんされたカメラを強い磁気が発生する場所に近づけないでください。
3. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
4. 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス（タンスの中のナフタリン、しょうのう他）・ホコリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
5. 閉め切った自動車の中などに長時間放置しないでください。
6. 飛行機をご利用の際、未現像のフィルムやフィルムの入ったカメラは機内持ち込みにされることをおすすめします。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査でカブリなどの影響が出る場合があります。
7. レンズ、AF窓、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでホコリを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。それでも取れないときは、富士フイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて、軽くふいてください。アルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
8. このカメラの使用温度範囲は－10℃～＋40℃です。
9. 寒冷地では電池の性能が低下しますので、衣服の内側に入れるなどして、温めてからご使用ください。なお一時的に性能の低下した電池は、常温に戻れば性能が回復します。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、裏面記載のお近くの弊社営業所やサービスステーションをご利用ください。

●無料修理
故障した製品についてはご購入年月、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
＊詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

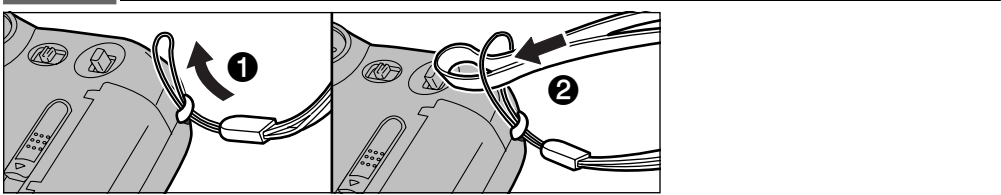
●有料修理
保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能
浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間
この製品の補修用部品は、5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。
なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意
1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは6,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

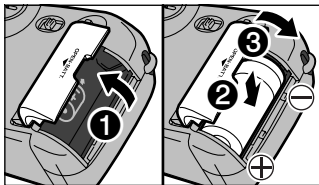
●海外旅行中の故障
海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外支店または各国の富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外支店、代理店の所在地一覧表はお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

準備編　1. ストラップを取り付けます

ストラップ取り付け部にストラップを通し、取り付けます。

市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

2. 電池を入れます

■使用する電池
★リチウム電池　フジフイルムリチウム　CR123A　1本

撮影前には必ず電池容量をチェックしてください。
＊電池を交換した場合には必ずデートを合わせてください。

＊リチウム電池では約300コマ撮影できます（当社試験条件による）。
＊旅行やたくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によっては電池の入手が困難な場合があります。
＊気温が低いときには、新しい電池を入れても“▭”が表示されることがあります。

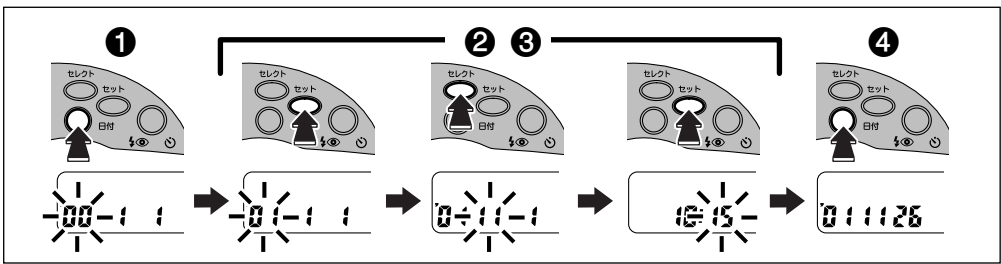
電池を入れる前にカートリッジを入れないでください。

❶電池ぶたを開けます。
❷表示に従って電池を入れます。
❸電池ぶたを閉めます。
＊電池ぶたに無理な力を加えないでください。

3. 電池容量のチェック

電源を入れ、液晶表示部で電池容量をチェックします。
❶電池の容量はOKです。
❷電池の容量が不足しています。新しい電池を準備してください。
❸電池容量がなくなったため、シャッターは切れません。新しい電池と交換してください。

＊撮影前には必ず電池容量をチェックしてください。
＊電池の交換は撮影途中のカートリッジが入っていても可能です。
＊新しいカートリッジを入れた直後に電池交換すると、カメラがフィルムを認識しない場合がありますので、一度カートリッジぶたを開け再度閉める操作を行ってください。

4. デート（年月日／時分）の合わせ方

❶電源を入れて、日付ボタンを2秒以上押し続けます。
☞“年”が点滅し、デート修正モードになります。

■設定範囲
年：'99～'30（1999年～2030年）
月：1～12　日：1～31
時：0～23　分：00～59

❷セットボタンを押して、点滅している数字を修正します。
❸セレクトボタンを押すと、次の設定項目に移ります。
☞“年”→“月”→“日”→“時”→“分”の順に項目が移ります。

❹“分”を合わせたら、日付ボタンを押してデート合わせを終了します。
☞時報に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に日付ボタンを押します。

＊“年月日”は“時分”に連動して変わります。

5. デートモードの選択

APSでは
デート（年月日／時分）は、アルバムにはっても見える表と整理に便利な裏に印字されます。
＊表面の印字はお店によっては対応できない場合がありますので、お店にご確認ください。
＊表面に印字されたデートが背景によっては見えにくくなる場合があります。
＊焼き増し時にデートを入れないなどの変更も可能です（お店によっては対応できない場合がありますので、お店にご確認ください）。

電源を入れて日付ボタンを押すと、デートモードを選択できます。
☞選択したモードが撮影時に記録され、プリントに印字されます。

＊“- - -”を選択すると、プリントには印字されません。
＊デート合わせを行うと、デートモードは“年月日”の順になります。“年月日”以外を設定したいときは、デートモードを選択し直してください。

■この使用説明書の表記について
☞：参考になる情報などの記載
＊：注意などの記載

各部の名称

※「準備編」が裏面にあります。まずはじめにお読みください。

プリントタイプの切り替え

APSでは
3つのプリントタイプ（C／H／P）を切り替えることができます。

Cタイプ（2：3）　Hタイプ（9：16）　Pタイプ（1：3）

＊（ ）内は縦横比です。

プリントタイプ切り替えつまみで、プリントタイプを切り替えます。
☞撮影範囲フレームが切り替わります。撮影画角は変わりません。

プリントタイプが撮影ごとにフィルムに記録され、左図範囲がプリントされます。また、どのプリントタイプで撮影してもフィルムに写るサイズは一定（16.7mm×30.2mm）のため、焼き増し時にプリントタイプを変更することができます。

Cタイプ 約16mm×23mm　Hタイプ 約16mm×28mm　Pタイプ 約10mm×28mm

基本編　1. 電源のON/OFF

スライドカバーを矢印方向へいっぱいに開けて電源を入れます。スライドカバーを閉めると電源が切れます。
☞電源を入れると、液晶が表示されます。

＊電源を入れたまま約5分間放置すると、電源は自動的に切れます。スライドカバーを一度閉め再度開けると、電源ON状態に復帰します。

電源を入れるときにレンズ部を指で押さえないでください。

2. カートリッジを入れます

APSでは
IX240カートリッジフィルム（以後カートリッジ）を使用します。

●カートリッジに1の○または2のDが白く表示されていることを確認してください。⊠▯が白くなっているカートリッジでは撮影できません（光学式誤装てん防止機能）。
●電池を入れる前にカートリッジを入れないでください。
＊新しいカートリッジを入れた直後に電池交換すると、カメラがフィルムを認識しない場合があります。

1

電源を入れて、Ⓐ部に"◆"が表示されていないことを確認します。

＊"E"と"◆"が表示されているときは、カートリッジを取り出してください。
＊フィルムカウンターと"◆"が表示されているときは、撮影途中のカートリッジが入っているため、カートリッジぶたを開放できません（セーフティロック機能）。カートリッジを交換する場合は、「撮影途中でカートリッジを取り出すには」をご参照ください。

2

スライドカバーを閉じます。
❶カートリッジぶた開放つまみを動かします。
❷カートリッジぶたを開けます。
❸カートリッジを落とし込みます。
❹カートリッジぶたを閉めます。
☞フィルムが自動的に送られます。

＊カートリッジぶたに無理な力を加えないでください。

3

1コマ目にセットされるまでの間、フィルム種類とフィルム感度が表示されます。

■フィルム種類表示

カラーネガ	リバーサル	黒 白	その他
表示なし	P	b	o

4

フィルムカウンター（カートリッジの規定撮影枚数）と"◆"の表示を確認します。

＊撮影済みまたは現像済みのカートリッジを入れると、"E"と"◆"が点滅します。カートリッジを取り出してください。

3. さあいよいよ撮影です

1

大切な撮影（結婚式や海外旅行、業務用途など）の前には試し撮りをして、カメラが正常に機能することを確認してください。

電源を入れ両脇を締め、カメラを両手でしっかり構えます。
☞縦位置撮影ではフラッシュ発光部が上にくるように構えます。

＊レンズやフラッシュ発光部、AF・AE窓に、指やストラップが掛からないようにしてください。

2

被写体を大きく写したいときは、ズームレバーを[▲]マーク側に押して望遠側にズームします。広い範囲を写したいときは、ズームレバーを[▪▪▪]マーク側に押して広角側にズームします。

＊撮影できる範囲は、1.0m〜∞です。

3

AFフレーム全体を被写体が満たすようにねらいます。

4

シャッターボタンを半押しします。
☞AFランプ（緑）が点灯すれば、ピント合わせは完了です。
☞液晶表示部にフィルム種類とフィルム感度が表示されます。

＊被写体に1mより近づくと、AFランプが点滅し、ピントが合わないことを警告します。さらに約30cmより近づくと、AFランプは点灯することがありますが、ピントは合いません。

5

シャッターを切ります。
☞暗いところではフラッシュが発光し、フィルムが次のコマまで送られます。
☞フィルムカウンターの数字は撮影のたびに1コマずつ減っていきます。

＊フラッシュ充電中（液晶表示部の"⚡"点滅中）はシャッターは切れません。

◆AFの苦手な被写体について◆

次のような場合、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、AFロック撮影、遠景モード撮影を行ってください。
●被写体の近くに太陽などの明るい光源や反射光（車のフロントガラス、波の反射など）がある場合
●画面の中央部付近に鏡、金属面などの反射面がある場合
●髪の毛など黒くて光を反射しにくい被写体の場合
●炎や煙などのように実体のないものの場合
●ガラス越しの撮影の場合

4. AF（オートフォーカス）ロック撮影

1

このような構図ではAFフレームが被写体（この場合は人物）から外れています。このままでは被写体にピントが合いません。

2

AFフレームに被写体が入るようにカメラを動かします。

3

そのままシャッターボタンを半押し（AFロック）します。
☞AFランプ（緑）の点灯を確認します。

4

シャッターボタンを半押し（AFロック）したまま最初の構図に戻して、シャッターを切ります。

＊AFロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

近距離撮影の場合

撮影距離が約1.5mより近い場合は、上図の[ ]範囲が写ります。撮りたいものが[ ]の範囲内に収まるように構図を決めます。

近距離撮影では、ファインダー窓から見える範囲と写る範囲にズレが生じます（ファインダー窓と撮影レンズの位置が違うため）。近距離補正マークは、ファインダー窓から見える範囲と実際に写る範囲の目安になります。

5. カートリッジを取り出します

1

最後の1コマを撮り終わると、フィルムが自動的に巻き戻されます。

必ずモーターが止まり"E"が表示されたことを確認してください。"E"が表示される前にカートリッジぶたを開けようとすると、カメラが故障したりフィルムが感光する恐れがありますのでご注意ください。

2

❶カートリッジぶた開放つまみを動かします。
❷カートリッジぶたを開けます。
❸カートリッジを取り出します。
☞カートリッジに3の⊠（撮影済み）が白く表示されます。

＊カートリッジぶたに無理な力を加えないでください。

6. カートリッジフィルム途中交換機能

撮影途中でカートリッジを取り出すには

1

MRCボタンを押します。
☞巻き戻しが完了すると、"E"が表示されます。

2

モーターが止まり"E"が表示されたことを確認してから、カートリッジを取り出します。
☞カートリッジに2のD（撮影途中）が白く表示されます。

新しいカートリッジを入れた場合

新しいカートリッジ（○表示）を入れます。
☞1コマ目まで自動的に送られます。
☞カートリッジの規定撮影枚数が表示されます。

撮影途中のカートリッジを入れた場合

撮影途中のカートリッジ（D表示）を入れます。
☞撮影途中のコマまで自動的に送られ、続きから撮影できます。
☞カートリッジの撮影残数が表示されます。
＊取り出しておいたカートリッジの撮影残数が分からなくなっても、カメラに装てんすると自動的に残数がセットされます。

◆途中交換機能についてのご注意◆

●途中で取り出したカートリッジ（D表示）を再びカメラに装てんしたとき、フィルムカウンターに"E"が点滅した場合には、次のような場所を避け、カートリッジをもう一度入れ直してください。
・ドライヤー、扇風機、掃除機などの回転しているモーターの近く
・作動中のTVやパソコンのディスプレイのそば
●途中で取り出したカートリッジを途中交換機能を持たないカメラに装てんすると、撮影済みの状態（⊠表示）になり、再撮影できなくなります。
●途中交換機能のないカメラで途中巻き戻ししたカートリッジ（⊠表示）は、このカメラに装てんしても再撮影できません。
●撮影途中で取り出したカートリッジ（D表示）でも、現像所に出すとすべて現像されてしまい、再撮影できなくなります。再撮影したいときは、未撮影のコマを撮り終わってから現像に出してください。

応用編　1. 撮影モードの選択

電源を入れ⚡👁⏱ボタンを押すと、撮影モードおよびセルフタイマーモードを選択できます。
☞表示なし→👁→⚡→Ⓢ→▲→⏱→⚡⏱の順に切り替わります。

フラッシュ撮影範囲

フィルム感度によってフラッシュ光の届く範囲が異なります。暗いところではフラッシュ撮影範囲に注意してください。

■フラッシュ撮影範囲

フィルム感度	広角（23mm）	望遠（69mm）
ISO 100	1.0 〜 2.5	1.0 〜 1.7
ISO 200	1.0 〜 3.5	1.0 〜 2.5
ISO 400	1.0 〜 5.0	1.0 〜 3.5
ISO 800	1.4 〜 7.0	1.4 〜 5.0

（カラーネガフィルム使用時　単位：m）

●低輝度自動発光モード、赤目軽減モードは、電源が切れても保持されます。
●強制発光モード、発光停止モードは、電源が切れると自動的に解除されます。
●遠景モード、セルフタイマーモードは、撮影後または電源が切れると自動的に解除されます。

表示なし　低輝度自動発光モード

通常の撮影に使用します。

暗いところでは自動的にフラッシュが発光します。

👁 赤目軽減モード

赤目现象を軽減します。

約1秒間赤目軽減ランプが点灯した後、フラッシュが発光します。

シャッターボタンを押してからフラッシュが発光するまでカメラを動かさないでください。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減モードを使用すると共に、
●撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
●なるべく近づいて撮影する
などするとより効果的です。

⚡ 強制発光モード

窓際や木陰などの逆光撮影に使用します。

明るいところでもフラッシュが発光します。

Ⓢ 発光停止モード

室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのフラッシュ光が届かない距離での撮影などに使用します。

フラッシュの発光を停止します。

＊暗いところで撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

▲ 遠景モード

風景をきれいに撮りたいときや、ガラス越しの遠景や遠い夜景の撮影などに使用します。

ピントが遠方にセットされます。フラッシュは発光しません。

＊1回の撮影ごとに解除されます。
＊暗いところで撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

2. セルフタイマー撮影

1

電源を入れ⚡👁⏱ボタンを押して、"⏱"を表示します。
☞セルフタイマーモードでは、低輝度自動発光モード（⏱）と強制発光モード（⚡⏱）を選択できます。
●⏱　：暗いところでもセルフタイマー撮影時にフラッシュが発光
●⚡⏱：セルフタイマー撮影時、常にフラッシュ発光

セルフタイマーモードは、撮影後または電源が切れると自動的に解除されます。

2

構図を決めて、シャッターボタンを押します。
☞AFフレーム内に見えるものにピントが合い、セルフタイマーランプが約7秒間点灯した後点滅に変わり、約3秒後にシャッターが切れます。

＊AFロック撮影も可能です。

カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケや露光不良になることがあります。